

石澤、押切選手頑張れ!

中札内中学生徒が巨大応援幕でエール



【中札内】中札内中学校（中野安博校長、生徒128人）は、卒業生でソチ五輪スピードスケートに出場している石澤志穂選手（ト

ランシスー駒大苫小牧高出）と押切美沙紀選手（富士急―駒大苫小牧高出）の応援幕を作り、12日、現地向かう両選手の両親に託した。



同校では両選手の代表入りが決まって以降、玄関前に横断幕を張るなど応援ムードを高めてきた。今回はさ

全校生徒が寄せ書きした応援幕。前列手前中央左が健一さん、同中央右が敏則さん

らに両選手に見てもらおうと、畳2枚分近くある大きな布に、それぞれ全校生徒が「100%の力を出して」「自分らしく最高の舞台を楽しんで」「全力で頑張っ

て」などと寄せ書きした。この日は同校体育館でお披露目会と贈呈式が開かれ、生徒会長の廣山千容さん（2年）が「最高の舞台に、先輩が2人も出られるなんてうれしい。私たちは

ソチには行けないけれど、この中札内から応援していきます」とあいさつ。石澤選手の父の健一さん（60）＝村内在住＝と押切選手の父の敏則さん（50）＝同＝に、それぞれ応援幕を手渡した。

健一さんは「ここは志穂の青春があった場所。応援は大変励みになる」、敏則さんは「本当にうれしい。写真を撮って現地の美沙紀に送りたい」と笑顔を見せた。

押切家は敏則さんと妻の春美さん（47）、春美さんの母の令子さん（71）が13日に、石澤家は健一さんと妻の由美子さん（59）が16日に出発し、モスクワ経由でソチ入りする。（大笹健郎）